

2020. 7. 10

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第55回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成 17 年(2005 年)10 月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業 1,212 社にアンケート調査を実施し、1,197 社から得た回答（有効回答率 98.8%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感 DI は急激に悪化」

【概 況】

2020 年 4～6 月の県内中小企業等の業況 DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2020 年 1 月～3 月「以下同じ」）の▲26.7 から▲67.0 へと▲40.3 ポイントの急激な悪化となり、これまで最低水準であったリーマンショック後の調査時（2009 年 4～6 月期▲67.9）とほぼ同じ水準となった。

業種別にみると、すべての業種において大幅に悪化し、特にサービス業（前回調査▲22.9→今回調査▲79.3）、製造業（▲36.3→▲78.4）、小売業（▲37.3→▲70.1）は悪化水準が高いものとなった。

これを地区別の業況 DI でみると、東部地区、中部地区、西部地区とも、大幅な悪化となり、マイナス水準が高い。（地区別の詳細は次頁のとおり）。

なお、各地区とも、人手の過剰感も出てきており、経済情勢の停滞が長引くことを懸念している。

県内合計及び地区別 DI の推移（全産業）

	2018年			2019年				2020年		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9 (見通し)
東部地区	▲18.8	▲5.8	▲0.8	▲17.5	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲67.8
中部地区	▲2.3	▲1.3	8.9	3.8	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲56.3
西部地区	4.5	1.5	8.6	▲0.8	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲76.6
県内計	▲3.1	▲1.0	6.1	▲4.4	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲70.6

2020 年 7～9 月の業況見通しは、東部、中部、西部ともに、更に悪化の見通しとなっていることから、引き続き県全体で、悪化水準が高い予想となっている。

■東部地区

東部では、サービス業が▲64.5 ポイント (▲25.5 ⇒▲90.0)、製造業が▲39.0 ポイント (▲33.0 ⇒▲72.0)、建設業が▲35.6 ポイント (▲3.4 ⇒▲39.0)、不動産業が▲32.4 ポイント (▲8.8 ⇒▲41.2)、小売業が▲32.1 ポイント (▲41.7 ⇒▲73.8)、卸売業が▲5.6 ポイント (▲69.4 ⇒▲75.0) とすべての業種が悪化したことから、全産業ベースの業況 DI は、前回調査時の▲30.6 から▲67.0 と大幅な悪化となった。

製造業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上、受注の減少から、悪化となった。

今後の見通し (2020 年 7~9 月期・以下同じ) としては、新型コロナウイルス第 2 波への懸念による売上の減少などから、業況は高いマイナス水準が続くと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・主力受注先の中国向け輸出が大幅に減少したことから売上減少。 (大型機械加工業)
- ・持続化給付金や対策融資受けるも、今後も資金繰り不案あり。 (鋼材製造業)
- ・自動車メーカーの生産、販売の減少で、大幅な売上減少となる。 (自動車部品製造業)
- ・制度融資により当面の運転資金は確保するも、借入過大となる。 (加工紙・板紙製造業)

卸売業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による、売上、受注の減少から、マイナス水準が依然として高い。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引くことから、業況は引続き厳しい状況が続く見通し。

(事業者の声)

- ・港が封鎖されて古紙の輸出がストップし大きな打撃。買取価格が下落し、厳しい状況。 (製紙原料卸売業)
- ・飲食店向けの洗剤卸で休業により売上が減少。消毒液の仕入れも困難。 (工業薬品卸売業)
- ・生花は需要が低迷。生産者も減少して在庫の定期的確保が困難。 (鉢花・生花卸売業)

小売業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上など大きく減少したことから、悪化となった。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く、業況は依然としてマイナス水準が高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・自動車メーカーは、海外の工場が休止し、納期まで 2 か月かかる。 (自動車小売業)
- ・海外の生産工場が再開しても車両・部品のバックオーダーが続く予想。 (オートバイ販売修理業)
- ・主要取引先である学校の休校により、売上が減少。 (スポーツ用品小売業)
- ・飲食業の休業があるも、家庭用食料品の売上は堅調に推移している。 (生鮮食品小売業)
- ・自宅用の販売増加、香港の取引先への輸出がコロナ収束早期で一定量確保できた。 (酒小売業)

サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は当面続き、業況はマイナス水準が引き続き高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・休館中に館内の清掃やボランティア活動 (町内清掃) 等を行い収束後に備えた。売上は大幅にダウン。 (宿泊業)
- ・パチンコ店では休業を余儀なくされ、多大な影響を受けている。 (遊技場)
- ・タクシー業界では売上、収益が激減したが、緊急事態宣言の解除後は徐々に客足は戻りつつある。 (タクシー事業)
- ・取引先の休業等により、必然的に休業せざるを得なくなった。 (清掃用品リース業)
- ・内科医の来院数が低下し、売上、収益が減少している。 (内科医院)

建設業

業況は、工事の遅延や工期の延期などによる、売上や受注の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大による影響のほか、建築資材の不足や高騰、人材不足など業界全体で抱える問題も多く、業況はマイナス水準が続くと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・打合せや面談、契約締結できず、工事が進まない。オンライン利用を検討。(総合建設業)
- ・公共工事の延期により、工事代金の回収が遅れがちで資金繰りが苦しくなっている。(総合建設業)
- ・ホテル、飲食関係の工事の先送り、新規の仕事が少なく、見積もり先からのキャンセルもある。(タイル工事業)
- ・先行き不透明であるが、制度融資や補助金を活用し、景気の回復を待つ。(給排水設備工事業)

不動産業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により不動産の動きも少なく、商談もやり難い状況から、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大状況が改善するまで売買や賃貸契約の延期、キャンセル等が予想できることから、業況はさらに悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引くと、家賃の滞納や家賃支払い困難者が増えることを懸念。(不動産売買・仲介・賃貸業)
- ・不動産の動き低調、価格下落のタイミングで仕入れを検討する。(不動産売買・仲介・賃貸業)
- ・景気減速の懸念から不動産購入意欲の減退を懸念している。(不動産売買・仲介業)

■中部地区

中部では、サービス業が▲51.7ポイント(▲23.3⇒▲75.0)、製造業が▲33.2ポイント(▲25.0⇒▲58.2)、小売業が▲21.6ポイント(▲42.9⇒▲64.5)、卸売業が▲10.5ポイント(▲36.2⇒▲46.7)とそれぞれマイナス幅が拡大し、更に建設業が▲52.4ポイント(4.3⇒▲48.1)、不動産業が▲24.1ポイント(2.4⇒▲21.7)とマイナス化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲21.1から▲53.7へと大幅に悪化した。

製造業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上の停滞・減少や、工場・機械の狭小・老朽化などから、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大が長期化することにより、売上、収益の減少から、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・取引先(県外企業)との打ち合わせができず、業務に遅れが生じている。オンライン会議だけでは満足な打ち合わせが出来ない。(鋼製型枠製造)
- ・取引先が首都圏であり、工場は稼働せず、営業もテレワーク中。その為、受注が困難な状態である。(アルミ・ステンレス加工)
- ・主要取引先の業況悪化に伴い、受注も減少で推移。影響が長期になれば経営が立ち行かなくなる可能性もある。(金属部品プレス加工業)
- ・売上は若干減少。今後、販路拡大など、将来を見据えた事業展開を考えていきたい。(化粧品製造業)

卸売業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上の停滞や減少、利幅の縮小などから、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化することにより、売上、収益、販売価格の減少から、業況は更なる悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上高が減少すると共に、取引先の動きが鈍化してきている。(機械部品卸)
- ・首都圏向けを中心に受注が3~4割減少。(水産物卸)
- ・ホテルや料亭の休業による売上減少はあったが、固定客を相応に保有しており、徐々に休業明けになっている所から注文が出てきている為、資金繰りの面で心配はない。(食料品卸売)
- ・飲食店等からの受注が一部減少している。ただ、スーパー等の小売店からの受注はこれまで通りで大きな変化はない。(海産品加工卸売業)

小売業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、売上の停滞、減少や、同業者間の競争の激化などから、悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による、売上、収益の減少から、業況は引き続きマイナス水準が高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・4月以降、消費者の購買意欲低下により、5月の車両販売は殆どなく、今後、資金繰りは厳しくなるものと推測される。(自動車販売整備)
- ・4月から売上が減少し、来客自体なく展示会の開催もできず今後の見通しが立たない状況。(呉服小売)
- ・一般消費者の来店が激減し、売上に大きな影響を与えている。緊急事態宣言解除後においても消費者の外出自粛や冠婚葬祭行事の形態変化の影響もあり、回復には相応の時間を要するものと思われる。(貴金属販売)
- ・営業自粛要請の対象となり、休業を余儀なくされたことで売上が減少。休業補助金、借入実施により当面の資金に不安はない。テイクアウト開始したことで新規顧客の利用に成功した。(飲食業)

サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、売上の停滞、減少や、同業者間の競争の激化などから、悪化している。

今後の見通しとしては、緊急事態宣言の解除で回復を期待したいが影響は大きく、業況は横ばいでマイナス水準が高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・内部留保が厚く資金繰りに今のところ不安はないが、コロナ禍の影響により冠婚葬祭が縮小傾向であり、売上げは大きく落ち込んでいる。(冠婚葬祭)
- ・旅館業という業種柄、宿泊、宴会はほとんどなく、影響が大きい。(旅館宴会)
- ・来店客が減少傾向にあるが、当面の資金繰りは心配ない。しかしながら、コロナ禍が長期化することにより雇用の見直し等の対策も検討していかなければならない。(美容室)
- ・観光バスの修理の取扱いが減少している。後は建設業のダンプ等、車両の取扱いが減少することを懸念している。(自動車修理、販売)

建設業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、売上の停滞、減少や、同業者間の競争の激化などから、マイナス化となり悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルスの影響による工事の中断解除等により、売上、受注残、施工高、収益の改善などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・当社は住宅の建設を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から打ち合せ・営業活動に支障をきたしていることから売上は減少。(一般建築)
- ・現場への入場規制や工期の延期により、大きく影響を受けた。(土木建築業)
- ・元々人手不足で外注依存であったが、受注減で外注依存が減少している。資金繰り支援融資制度の利用により、当面の資金繰り不安は解消済み。(管工事業)

- ・3月から4月にかけて水廻り資材の仕入が困難となり工事の延長や中止等の影響はあったが、5月末現在で資材の仕入は正常化しており資金繰りは正常化するものと思っている。(木造建築工事業)

不動産業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、売上の停滞、減少や、商品物件の不足などから、マイナス化となり悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化することにより、売上、収益、販売価格の減少や商品物件の不足などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・非対面での営業方法の導入を今後検討していく。(不動産売買仲介)
- ・現状ではコロナ禍の影響は少なく安定推移するも、今後、影響を危惧。顧客は一般個人であり購買意欲の低下および所得減少の影響から売上の減少も想定される。(不動産売買仲介)
- ・家賃の引下げの要請があり、賃料収入が減少する見込み。(不動産賃貸業)
- ・賃貸先の飲食店が営業自粛の為、家賃支払いが滞っている先がある。対策貸付の申込みを行ったが、先行き不透明感は依然として拭えない。(テナント賃貸業)

■西部地区

西部では、サービス業は▲49.4ポイント(▲19.6⇒▲69.0)、卸売業が▲47.5ポイント(▲27.5⇒▲75.0)、製造業が▲44.2ポイント(▲39.8⇒▲84.0)、小売業が▲39.9ポイント(▲28.2⇒▲68.1)、不動産業が▲39.5ポイント(▲7.7⇒▲47.2)とマイナス幅が拡大したうえ、建設業が▲43.4ポイント(11.4⇒▲32.0)とマイナス化となり、すべての業種で悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲26.9から▲71.0へと、大幅に悪化した。

製造業

業況は、売上の減少などから、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、販売価格の下降などから、業況は依然としてマイナス水準が高いと見込んでいる。

(事業者の声)

- ・3月までは新型コロナウイルス感染拡大の影響はなかったが、4月から影響が出始めた。(二輪車)
- ・大手メーカー工場停止の影響は大きく、5月に入り部品製造が大幅に減少した。(自動車)
- ・住宅新築着工件数が減少し始めたため、受注が減少している。(建築用板金部材製造)

卸売業

業況は、売上の減少などから、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くことから、業況はさらに悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・学校の部活中止や新入生の入学遅れから、売上が大幅にダウンした。(スポーツ用品)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響は少ないが、仕入れ先からの値上げ要請がある(珍味・豆菓子卸売)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスクの売上は大幅に増加した。(マスク・包帯)

小売業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から『ステイホーム』や大規模イベントの中止により、売上が減少していることから、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、売上などの減少により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・冠婚葬祭が減少または規模縮小の傾向にある。(葬儀用箆盛・ギフト)
- ・対象顧客が高齢者であるため、店頭販売が難しい。(メガネ・補聴器)
- ・地元の大規模な催事が中止となり、売上減少となった。(和菓子)

・巣ごもり需要から売上・収益ともに増加した。

(食肉)

サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上、収益などが減少したことから、大幅に悪化している。
今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・4月の緊急事態宣言、休業要請等により、来店客が減少し、緊急事態宣言の解除後も客足が戻っていない。(飲食)
- ・テイクアウトに活路を求めるが、黒字化にはほど遠い状況である。(飲食)
- ・ホテルの客室稼働率も3月から急低下した。(宿泊)
- ・県外からの来場が多いため、外出の自粛要請により大打撃を受けている。(ゴルフ場)

建設業

業況は、売上の減少から、マイナス化となり大幅に悪化している。
今後の見通しとしては、売上の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・給与所得者の収入減少により、新築案件の受注量の減少が懸念される。(一般住宅建築)
- ・サプライチェーンの寸断により、建設資材が滞っている。(土木建設)
- ・公共工事は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もなく、売上は前年比微増となっている。(総合建設)

不動産業

業況は、売上の減少から、大幅に悪化している。
今後の見通しとしては、販売価格の下降などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売買等の不動産の動きが鈍くなっている。(不動産売買)
- ・4月以降の家賃については、一部減額を行っている。(不動産賃貸)
- ・仲介部門については案件の先送り等により、経営に支障をきたしている。(不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2020年4～6月期)						前回調査(2020年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.1%	5.1%	20.5%	34.1%	39.2%	▲ 67.0	2.4%	11.0%	42.5%	34.4%	9.7%	▲ 30.6
中部地区	1.1%	8.4%	27.4%	35.8%	27.4%	▲ 53.7	2.7%	13.4%	46.6%	31.2%	6.0%	▲ 21.1
西部地区	0.9%	3.0%	21.1%	38.3%	36.6%	▲ 71.0	2.0%	11.3%	46.6%	30.7%	9.4%	▲ 26.9
県内合計	1.0%	4.5%	21.9%	36.6%	35.9%	▲ 67.0	2.3%	11.7%	45.4%	31.9%	8.7%	▲ 26.7

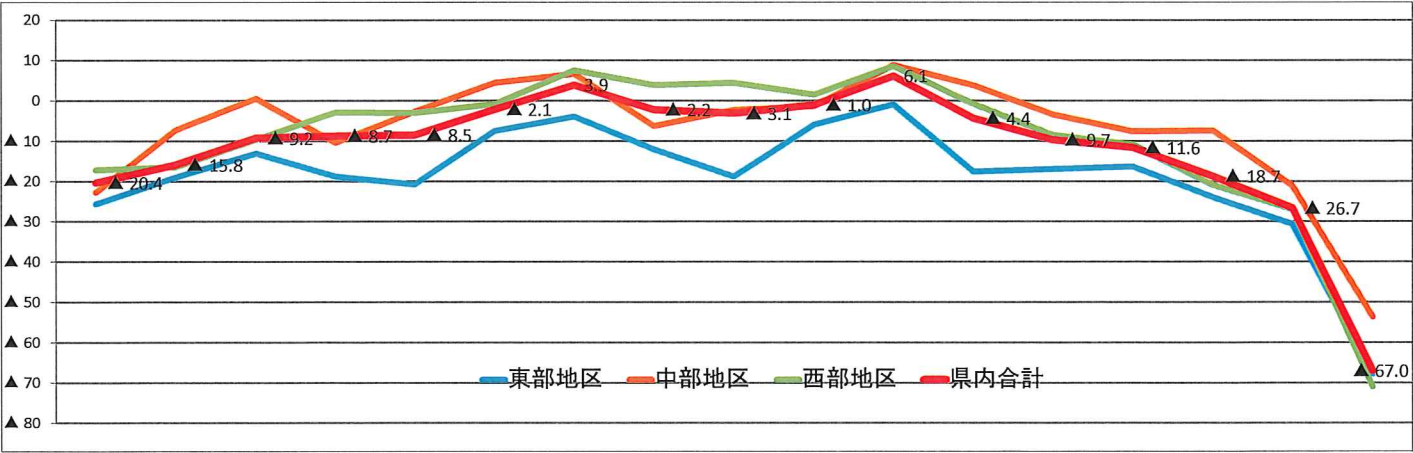
2. 業況予想(全業種)

	2020年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	0.5%	3.8%	23.5%	41.4%	30.8%	▲ 67.8
中部地区	0.5%	5.8%	31.1%	38.9%	23.7%	▲ 56.3
西部地区	0.2%	2.7%	17.7%	44.8%	34.7%	▲ 76.6
県内合計	0.3%	3.5%	21.6%	42.8%	31.7%	▲ 70.6

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2016年 4～6月期	2016年 7～9月期	2016年 10～12月期	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	2019年 4～6月期	2019年 7～9月期	2019年 10～12月期	2020年 1～3月期	2020年 4～6月期
東部地区	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0
中部地区	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7
西部地区	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0
県内合計	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2020年4～6月期)						前回調査(2020年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	6.5%	15.0%	35.5%	43.0%	▲ 72.0	3.7%	12.8%	33.9%	40.4%	9.2%	▲ 33.0
卸売業	2.8%	0.0%	19.4%	36.1%	41.7%	▲ 75.0	0.0%	2.8%	25.0%	61.1%	11.1%	▲ 69.4
小売業	3.6%	1.2%	16.7%	38.1%	40.5%	▲ 73.8	0.0%	8.3%	41.7%	32.1%	17.9%	▲ 41.7
サービス業	0.0%	2.0%	6.0%	22.0%	70.0%	▲ 90.0	0.0%	13.7%	47.1%	27.5%	11.8%	▲ 25.5
建設業	0.0%	8.5%	44.1%	28.8%	18.6%	▲ 39.0	6.9%	12.1%	58.6%	22.4%	0.0%	▲ 3.4
不動産業	0.0%	14.7%	29.4%	44.1%	11.8%	▲ 41.2	2.9%	14.7%	55.9%	23.5%	2.9%	▲ 8.8
全業種	1.1%	5.1%	20.5%	34.1%	39.2%	▲ 67.0	2.4%	11.0%	42.5%	34.4%	9.7%	▲ 30.6

2. 中部地区

	今回調査(2020年4～6月期)						前回調査(2020年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	12.7%	16.4%	34.5%	36.4%	▲ 58.2	4.2%	11.1%	44.4%	34.7%	5.6%	▲ 25.0
卸売業	0.0%	6.7%	40.0%	20.0%	33.3%	▲ 46.7	0.0%	4.3%	55.3%	31.9%	8.5%	▲ 36.2
小売業	0.0%	9.7%	16.1%	35.5%	38.7%	▲ 64.5	0.0%	10.2%	36.7%	40.8%	12.2%	▲ 42.9
サービス業	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	▲ 75.0	0.0%	18.6%	39.5%	34.9%	7.0%	▲ 23.3
建設業	7.4%	3.7%	29.6%	48.1%	11.1%	▲ 48.1	6.5%	23.9%	43.5%	23.9%	2.2%	4.3
不動産業	0.0%	13.0%	52.2%	30.4%	4.3%	▲ 21.7	4.9%	14.6%	63.4%	17.1%	0.0%	2.4
全業種	1.1%	8.4%	27.4%	35.8%	27.4%	▲ 53.7	2.7%	13.4%	46.6%	31.2%	6.0%	▲ 21.1

3. 西部地区

	今回調査(2020年4～6月期)						前回調査(2020年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.3%	1.9%	11.6%	35.7%	50.5%	▲ 84.0	0.9%	8.8%	40.7%	37.1%	12.5%	▲ 39.8
卸売業	1.3%	3.9%	14.5%	44.7%	35.5%	▲ 75.0	2.5%	10.0%	47.5%	28.8%	11.3%	▲ 27.5
小売業	5.8%	1.4%	17.4%	42.0%	33.3%	▲ 68.1	0.0%	8.5%	54.9%	23.9%	12.7%	▲ 28.2
サービス業	0.0%	0.0%	31.0%	52.4%	16.7%	▲ 69.0	4.3%	15.2%	41.3%	34.8%	4.3%	▲ 19.6
建設業	0.0%	9.3%	49.3%	34.7%	6.7%	▲ 32.0	6.3%	21.5%	55.7%	16.5%	0.0%	11.4
不動産業	0.0%	3.8%	45.3%	34.0%	17.0%	▲ 47.2	1.9%	13.5%	61.5%	21.2%	1.9%	▲ 7.7
全業種	0.9%	3.0%	21.1%	38.3%	36.6%	▲ 71.0	2.0%	11.3%	46.6%	30.7%	9.4%	▲ 26.9

4. 県内合計

	今回調査(2020年4～6月期)						前回調査(2020年1～3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.2%	4.2%	12.9%	35.6%	47.2%	▲ 78.4	2.0%	10.0%	39.8%	37.5%	10.8%	▲ 36.3
卸売業	1.4%	3.5%	21.1%	37.3%	36.6%	▲ 69.0	1.2%	6.7%	44.8%	36.8%	10.4%	▲ 39.3
小売業	3.8%	2.7%	16.8%	39.1%	37.5%	▲ 70.1	0.0%	8.8%	45.1%	31.4%	14.7%	▲ 37.3
サービス業	0.0%	0.9%	19.0%	38.8%	41.4%	▲ 79.3	1.4%	15.7%	42.9%	32.1%	7.9%	▲ 22.9
建設業	1.2%	8.1%	44.1%	34.8%	11.8%	▲ 37.3	6.6%	19.1%	53.6%	20.2%	0.5%	4.9
不動産業	0.0%	9.1%	41.8%	36.4%	12.7%	▲ 40.0	3.1%	14.2%	60.6%	20.5%	1.6%	▲ 4.7
全業種	1.0%	4.5%	21.9%	36.6%	35.9%	▲ 67.0	2.3%	11.7%	45.4%	31.9%	8.7%	▲ 26.7

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2020年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	3.7%	19.6%	38.3%	37.4%	▲ 71.0
卸売業	0.0%	8.3%	8.3%	50.0%	33.3%	▲ 75.0
小売業	1.2%	1.2%	19.0%	45.2%	33.3%	▲ 76.2
サービス業	0.0%	2.0%	12.0%	40.0%	46.0%	▲ 84.0
建設業	0.0%	5.1%	49.2%	35.6%	10.2%	▲ 40.7
不動産業	0.0%	5.9%	35.3%	44.1%	14.7%	▲ 52.9
全業種	0.5%	3.8%	23.5%	41.4%	30.8%	▲ 67.8

2. 中部地区

	2020年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	9.1%	25.5%	36.4%	29.1%	▲ 56.4
卸売業	0.0%	0.0%	30.0%	33.3%	36.7%	▲ 70.0
小売業	0.0%	3.2%	25.8%	41.9%	29.0%	▲ 67.7
サービス業	0.0%	0.0%	29.2%	58.3%	12.5%	▲ 70.8
建設業	3.7%	14.8%	33.3%	33.3%	14.8%	▲ 29.6
不動産業	0.0%	4.3%	52.2%	34.8%	8.7%	▲ 39.1
全業種	0.5%	5.8%	31.1%	38.9%	23.7%	▲ 56.3

3. 西部地区

	2020年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.3%	0.6%	11.3%	41.5%	46.2%	▲ 86.8
卸売業	0.0%	2.6%	11.8%	48.7%	36.8%	▲ 82.9
小売業	0.0%	2.9%	17.4%	46.4%	33.3%	▲ 76.8
サービス業	0.0%	2.4%	19.0%	69.0%	9.5%	▲ 76.2
建設業	0.0%	10.7%	36.0%	44.0%	9.3%	▲ 42.7
不動産業	0.0%	3.8%	38.5%	38.5%	19.2%	▲ 53.8
全業種	0.2%	2.7%	17.7%	44.8%	34.7%	▲ 76.6

4. 県内合計

	2020年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.4%	2.3%	14.8%	40.2%	42.3%	▲ 79.8
卸売業	0.0%	3.5%	14.8%	45.8%	35.9%	▲ 78.2
小売業	0.5%	2.2%	19.6%	45.1%	32.6%	▲ 75.0
サービス業	0.0%	1.7%	18.1%	54.3%	25.9%	▲ 78.4
建設業	0.6%	9.3%	40.4%	39.1%	10.6%	▲ 39.8
不動産業	0.0%	4.6%	40.4%	39.4%	15.6%	▲ 50.5
全業種	0.3%	3.5%	21.6%	42.8%	31.7%	▲ 70.6